

資料 4902 清之助が書写した「与力同心相勤候諸御役の覚」

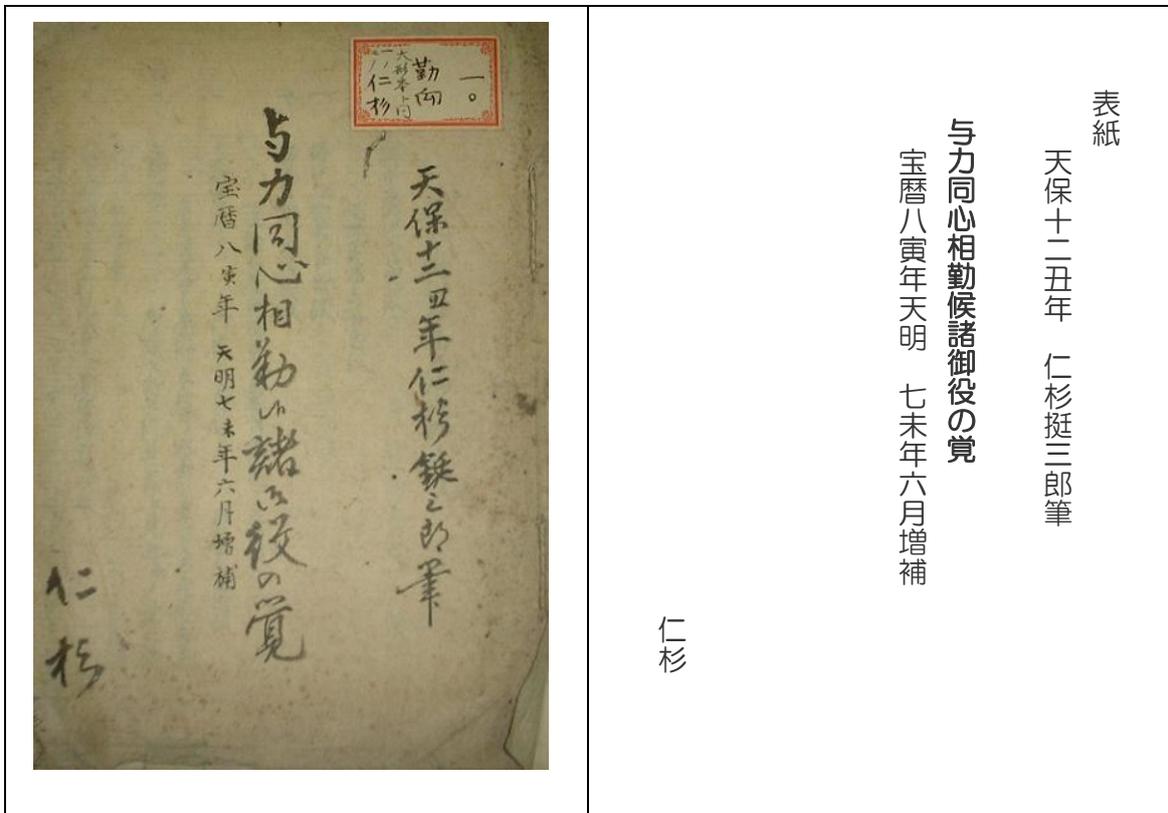
与力はある程度経験を積むと、吟味方、例繰方、赦帳方などの内役か、養生所見廻、牢屋敷見廻、本所見廻などの外役を割り当てられる。このうち花形と言われるのが吟味方であり、年番方は最高のポストとされる。

経験の浅い与力はこのような役方には着けず、番方に配属される。番方の与力は当番制で番所に詰め、受付や警固をする他、様々な出役に駆り出される。その出役について詳細に記されたのがこの「与力同心相勤候諸御役の覚」である。

裁判、将軍の参詣、鷹狩、祭礼、町人がお城で能見物、捕り物、牢屋敷、処刑、火事、橋普請、島送り などなど実に多岐にわたっていることがわかる。

天保12年10月、見習与力になったばかりの仁杉挺三郎（清之助）が、その業務を学ぶために先輩から借りた「覚」を書写したものと考えられる。

原本は千代田区立四番町歴史資料館所蔵、釈文も同館調査報告書を参考にさせていただいた。



与力・同心相勤候諸御役之覚

一 評定所式日出役

但焼失物立合出役

一 評定所立合出役

一 評定所御吟儀出役

但於御番所御目付衆立合御詮儀之節出役

一 上野・増上寺え御成之節、前日御道見分出役

右は、月番之番所え御届出ス、非番之方えは御届不差出

一 上野・増上寺え御成御当日、御道筋え見廻并人払出役

但右同断

一 於上野・増上寺御法事之節、御赦出役

- 一於上野・増上寺御法事之節、御施行場地渡并矢来出来見分出役
- 一御法事之節、御施行米被下候出役
- 一御鷹野御成之節、前日御道見分、船片付・船払并高積修復、船改出役
 - 但御当日高積修復船御徒え引渡出役
- 一御鷹野御成御当日御道筋見廻出役
- 一御成之節、新規御道筋見分出役
- 一山王御祭礼出役
 - 但太神楽御徒目付え引渡出役
- 一氷川御祭礼出役
- 一近年神田明神祭礼之節、社内并田安御門外二て練物繰入出役附り、神事触有之節之事
- 一御前公事之節出役
- 一町人御能拜見出役
 - 但町人え被下候御銭受取渡出役
- 一地渡地受取出役
 - 但大名衆御手伝之小屋場渡受取之出役
- 一当番より捕者検使出役
- 一両御番所より武士方え御預ヶ之者病死之節検使出役
- 一火事場出役
- 一橋其外御普請奉行
- 一狂言・芝居見分出役
- 一牢屋敷并於斬罪場御仕置者有之節検使出役
- 一於牢屋敷切腹人有之節検使出役
- 一於牢屋敷敲御仕置出役
- 一引廻者検使出役
 - 右は懸番所え計同心ヲ以可被届候、懸り無之方えは不 及届、
- 一遠島者御船手え引渡候出役
- 一町屋鋪境目争論見分出役

評定所式日出役
評定所立合出役
評定所御詮儀出役
上野・増上寺え御成之節前日御道見分出役
右御成之御当日御道筋見廻并人払出役
於上野・増上寺御法事之節御赦出役
於上野・増上寺御法事之節御施行場地渡并矢来出来見分出役
御法事之節御施行米被下置候節出役
御鷹野御成之前日御道具見分船片付船払并高積修復船改出役 <ul style="list-style-type: none"> 但御当日高積修復船御徒え引渡出役
右御成御当日御道筋見廻出役
御成之節新規御道筋見分出役

明和四亥年年番え被仰渡候趣明和五子年年番え被仰渡候趣

山王御祭礼出役

氷川御祭礼出役

神田明神祭礼之節社内繰出出役并田安御門繰入出役付、神事能有之節之事

御前公事之節出役

町人御能拜見出役

地渡地請取出役

当番より捕者検使出役

取籠り者有之其所より訴来候節取計之儀

捕方同心御褒美之儀、左之通御座候

両御番所より武家方え御預之もの病死之節検使出役

火事場出役

橋其外御普請奉行

狂言芝居見分出役

牢扶持勘定出役

牢屋敷并斬罪御仕置者有之節検使出役

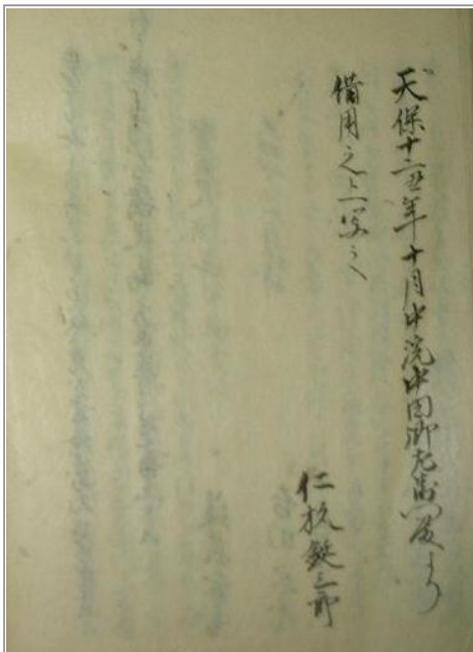
於牢屋鋪切腹人有之節出役

於牢屋敷敲御仕置出役

引廻者検使出役

遠島者御船手え引渡候出役

町屋鋪境目争論出役



天保十二年十月廿九日
借用之上写之
中田郷左衛門殿より

仁杉挺三郎